

館長 (特命准教授)	伏見 裕利	Curator	Hirotooshi Fushimi (Ph.D.)
技術補佐員	林 珠央	Associate Professor	
		Research Assistant	Tamao Hayashi

◇目的

世界の諸民族の伝統薬物を蒐集、保存、展示するとともに、それらの学術情報を収載したデータベースを構築し、伝統薬物に関する共同研究を推進する。

◇活動概要

I) 民族薬物データベース (ETHMEDmmm) の構築

当資料館には、和漢薬、アーユルヴェーダ生薬、ユナニー生薬、タイ生薬、インドネシア生薬、チベット生薬など約 27,000 点の生薬標本が保存されている。これらに関するデータベースを順次開発し、生薬標本情報並びに学術情報を整理し、構築している。本年は、第 16 改正日本薬局方及び中華人民共和国薬典 2010 の記載内容に準拠するように、変更点の修正を行った。

II) 薬草古典データベースの構築

中国薬草古典「証類本草」データベース：『証類本草』収載品で、日本でも民間薬として利用される生薬を中心に 12 項目の翻訳を進め、生薬 3 項目を校正し、データベースに登録した。

III) 「民族薬物資料館」ニュースレターの作成

民族薬物資料館内部の展示物などを紹介したニュースレター（創刊号、第 2 号）を作成した。

IV) 「民族薬物資料館」目録の作成

民族薬物資料館に保存されている生薬 27,000 点の中で、「傷寒論」及び「神農本草経集注」に記載のある生薬 26 種類 130 点について、目録を作成した。民族薬物データベースの記載内容、生薬写真、及び証類本草データベースの記載等を抜粋し、注釈を加えた目録とした。

V) 一般公開

第 17 回民族薬物資料館一般公開：平成 24 年 6 月 9-10 日（午前 10 時～午後 4 時）

1 日 4 回各 1 時間、日本の民間薬であるどくだみ、せんぶり、げんのしょうこ、おとぎりそうを中心として館内を案内した。来館者は 35 名。

第 18 回民族薬物資料館一般公開：平成 24 年 8 月 1-3 日（午前 10 時～午後 4 時）

1 日 3 回各 1 時間、小中学生を対象とした「一夏休み薬草体験一、和漢薬を見て、聞いて、嗅いで楽しもう！」と題して、展示品の説明を行った。あわせて冬虫夏草についても説明を行った。来館者は 60 名。

第 19 回民族薬物資料館一般公開：平成 24 年 10 月 27 日（午前 10 時～午後 4 時）

1 日 3 回各 1 時間、資料館内を案内すると共に、チベット医学における四部医典タンカを紹介した。さらに漢方講習会として、富山大学和漢医薬学総合研究所漢方診断学分野教授の柴原直利先生による「漢方診断の体験 一気血水病態一」を開催した。来館者は 62 名。

◇学会報告

- 1) 伏見裕利, 民族薬物データベース作成委員会, 証類本草データベース作成委員会: 民族薬物資料館ポスター. 国立大学博物館等協議会 2012 年大会 (第 7 回博物科学会), 2012, 6, 21-22, 京都.
- 2) 梅寄雅人, 伏見裕利: 和漢薬における科学的根拠確立のためのデータベース構築. 国立大学博物館等協議会 2012 年大会 (第 7 回博物科学会), 2012, 6, 21-22, 京都.
- 3) 大江未来広, 条美智子, 伏見裕利, 木村真梨, 引網宏彰, 嶋田豊, 柴原直利: 日本・中国・韓国における治療処方の特同性に関する国際比較調査研究. 第 29 回和漢医薬学会学術大会, 2012, 9, 1-2, 東京.
- 4) 伏見直子, 伏見裕利, 安食菜穂子, 池崎秀和, 御影雅幸, 川原信夫, 合田幸広: 生薬「滑石」の基原について (2): 分光測色計による識別. 日本生薬学会 59 回年会, 2012, 9, 17-18, 千葉.
- 5) 三宅克典, 大井逸輝, 伏見裕利, 北岡文美代, 佐々木陽平, 御影雅幸: 国内のウェブサイト入手可能な生薬の基原について. 日本薬学会第 133 年会, 2013, 3, 27-30, 横浜.

◇その他

- 1) 小松かつ子: 富山大学和漢医薬学総合研究所民族薬物資料館, はりきゅうロード, 鍼灸 Osaka 別冊ムック Vol.2, p.143-145, 2012, 5, 5, 大阪.
- 2) 伏見裕利: 生薬の展示と解説. 国立大学共同利用・共同研究拠点協議会, 第 8 回知の拠点セミナー, 2012, 5, 18, 東京.
- 3) 小松かつ子, 伏見裕利: トムズ TV, 北日本放送, 2012, 6, 3, 富山.
- 4) 伏見裕利: 生薬の分類, 富山のくすし, 第 3 回漢方と生薬講座, 2012, 6, 23, 富山.
- 5) 伏見裕利: 薬用植物コーナーの展示協力, 富山県中央植物園, 2012, 6, 29, 富山.
- 6) 伏見裕利: 食用・薬用キノコの秘密を探る—霊芝は本当に癌に効くのか. 放送大学オープンセミナー, 2012, 7, 8, 富山.
- 7) 伏見裕利: 丸薬, 湯液をつくってみよう, 和漢医薬学総合研究所夏期セミナー, 2012, 8, 23, 富山.
- 8) 伏見裕利: 発見! とやま, 民族薬物資料館, 富山シティエフエム, 2012, 8, 27-29, 富山.
- 9) 伏見裕利: 身近な薬草. 平成 24 年度後期富山大学公開講座, 2012, 10, 16, 富山.
- 10) 小松かつ子, 伏見裕利: 現地学習, 富山大学和漢医薬学総合研究所民族薬物資料館の紹介. 富山市民大学講座, 2012, 11, 9, 富山.
- 11) 伏見裕利: 越中とやまのお宝, 四部医典タンカ, 富山県いきいき長寿センター, Vita No.91, p46-47, 2012, 12, 15, 富山.
- 12) 伏見裕利: 民族薬物資料館に保存されている生薬, 富山大学和漢医薬学総合研究所・長崎熱帯医学研究所第 3 回交流セミナー, 2012, 12, 21, 長崎.
- 13) 三宅克典, 伏見裕利: 国内で繁用される鉱物性生薬に関する資源調査, 和漢医薬学総合研究所平成 24 年度共同研究報告セミナー, 2013, 3, 5, 富山.
- 14) 伏見裕利: 伝統医学の知恵を日常生活に役立てよう, 飛騨アカデミー・春セミナー, 2013, 3, 24, 飛騨.

◇共同研究

国内

- 1) 川原信夫: 独立行政法人医薬基盤研究所, 「各種漢方処方に配合される鉱物生薬カッセキの性状, 確認試験等に関する検討」, 2007~
- 2) 三宅克典: 金沢大学医薬保健研究域薬学系, 「国内で繁用される鉱物性生薬に関する資源調査」, 2012.
- 3) 小松かつ子, 柴原直利: 植物由来の薬用入浴剤開発を目的とした富山県内における作物お

◇研究費取得状況

- 1) 文部科学省科学研究費, 基盤研究 C (代表: 伏見裕利) 「日本民間薬の現地調査と民族薬物データベースの充実」. 90 万.
- 2) 平成 24 年度厚生労働省科学研究費補助金, 創薬基盤推進研究事業 (分担: 伏見裕利) 「薬用植物の多様性を基盤とする栽培拡充戦略—ブランド生薬の作出」 100 万.

◇記録

I) 見学者 (2012 年 4 月 1 日 ~ 2013 年 3 月 31 日)

来館者総数: 747 名 (日本人 678 名, 外国人 69 名)

案内総回数: 86 回 (日本人 69 回, 外国人 17 回)

外国人の国名(人数) 韓国(47), 中国(10), カナダ(5), ハンガリー, ノルウェー(各 2), 米国, スロバキア, インドネシア(各 1)

主な来館者の所属先 【海外】韓国 (ソウル大学, 成均館大学, 慶熙大学, 国立順天大学, ハムソア製薬, バイオ済州など), 中国 (瀋陽薬科大学, 山東大学, 北京中日友好医院など), 米国 (アイオワ大学), ノルウェー(トロムソ大学), インドネシア (バンドン工科大学)

【国内】文部科学省, 国公立大学 13 校, 富山県立富山いずみ高校, 富山県立南砺福野高等学校, 石川県立田鶴浜高等学校, 筑波大学附属駒場中学校, 富山市民大学講座, 他

II) 民族薬物データベース (2012 年 4 月 1 日 ~ 2013 年 3 月 31 日)

アクセス数: 12,006 件

専門検索アクセス数: 1,015 件 (日本語 725 件, 英語 290 件)

専門検索登録者数: 56 名 (日本語 50 名, 英語 6 名) (全 1,467 名)

一般検索アクセス数: 1,240 件 (日本語 997 件, 英語 243 件)

III) 証類本草データベース (2012 年 4 月 1 日 ~ 2013 年 3 月 31 日)

アクセス数: 955 件 (試用版 244 件)

専門検索登録者数: 47 名 (全 243 名)